

◎評価結果（生活保護受給者等就労支援事業候補者選定）

応募団体① 株式会社 アソウ・ヒューマニーセンター 大阪支店

○提案内容審査 配点500点、基準点：300点（配点500点の6割）

評価項目	配点	応募団体①	応募団体②
1. 事業目的、課題の分析能力及び事業者の運営能力に関する事項			
①事業目的、事業運営能力について	25	21	20
②近年において事業課題と感じて、工夫している支援について	25	20	18
2. 企画提案に関する事項			
①面談支援等の求職における就労意欲の醸成について	50	38	34
②職場定着・離職防止のための支援について	50	38	36
③求人開拓について	25	19	18
④技法や知識の習得等のための支援について	25	15	18
⑤早期就労の実現が困難な者への支援について	50	32	30
3. 事業者提案による成果指標			
①利用者の行動変容、事業者提案による指標について	50	36	32
4. 実務実施体制に関する事項			
①支援員等の配置について	25	18	17
②支援体制について	25	18	19
5. 従事者教育			
①支援レベルの維持向上について	50	34	34
②従事者の教育について	25	17	16
6. 関係機関との連携に関する事項			
①福祉事務所との連携について	50	34	32
7. 個人情報保護の措置に関する事項			
①個人情報の取り扱いについて	25	19	20
得点合計	500	359	344
順位		1	2

○評価内容

<p>【応募団体①】 これまでの就労支援事業における実績に基づき、市が課題としている早期就労が困難な者への支援の課題や短期離職の原因等を分析した上で、具体的な支援方法を提案している。特に、就労に向けての意欲喚起について、専門カウンセラーや有資格者を配置する等、特色ある取り組みを行っている点も評価された。 一方で、地域共生をテーマとして掲げられていたものの、地域に根差した取り組みについて具体的な提案がやや欠けていた。また、提案内容を実施するためには人員がやや不十分であると思われるため、より充実した人材確保や本社によるサポートにも留意することが望まれる。</p> <p>【応募団体②】 これまでの実績に基づき、就労困難な支援対象者の現状を把握し4区分に分けた段階的な支援計画について、研修、教育のノウハウを活かした効果的な支援を提案している点が評価された。 一方、支援対象者の想定が不十分であり、特に中高年やメンタル不調者への支援に関してより具体的な支援内容や実践に基づいた提案があるとよかった。</p>
